

G1-2025-

農業農村工学

専門(記述式)試験問題

注 意 事 項

1. 解答時間は **1 時間** です。
2. 答案用紙の記入について
 - (ア) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるように訂正してください。
 - (イ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
 - (ウ) 書ききれない場合は、裏面を使用してください。
 - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
3. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
4. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
5. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏 名
	農業農村工学		

指示があるまで中を開いてはいけません。

途中で退室する場合………本試験種目終了後の問題集の持ち帰りを

希望しない

令和３年に閣議決定された「土地改良長期計画」では、食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を維持していくため、「人口減少下で持続的に発展する農業」及び「多様な人が住み続けられる農村」を目指す姿とし、それを下支えする土地改良事業の推進のため、以下の①、②、③の政策課題に取り組むこととしている。

① 生産基盤の強化による農業の成長産業化(産業政策の視点)

② 多様な人が住み続けられる農村の振興(地域政策の視点)

③ 農業・農村の強靱化(両政策を支える視点)

①、②、③のうち、いずれか二つを選び、その番号を記した上で、それぞれについて、農業・農村の現状、課題及び対応策について述べなさい。

ただし、解答に当たっては、それぞれの解答について、 内の用語から三つ以上使用し、初めて用いるときは下線を付すこと。

①の場合

担い手、農地中間管理機構、高収益作物、水田の汎用化、スマート農業、輸出

②の場合

集落機能の低下、所得と雇用機会の確保、農村生活インフラ、関係人口、農泊、多面的機能支払

③の場合

災害の頻発化・激甚化、老朽化、保全管理、施設の集約・再編、流域治水、ICT